

「病院機能評価」は日本医療機能評価機構による評価です

患者さんの命と向き合う病院には、その医療の質を担保するために備えているべき機能があります。

国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする公益財団法人として1995年に設立された日本医療機能評価機構は、病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門調査者チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

約90項目の病院機能を 専門調査者が審査し評価しています

評価を行う項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供するために必要な組織体制」や、「実際に医療を提供するプロセス」、「病院全体の管理・運営体制」など、約90項目があります。

信頼できる医療を確保することを目的に、専門調査者が病院の機能を評価することで、その病院の課題を明らかにして医療の質改善を支援するものです。



(公財)日本医療機能評価機構とは

日本医療機能評価機構は、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的に設立された公益財団法人です。

質の高い医療を実現するために、病院機能評価をはじめ、医療安全に関する教育研修、医療事故情報のデータベース、診療ガイドライン等の提供など、幅広い事業を実施しています。

神代病院は、「ケアする病院ネットワーク」全国10病院・医療施設等の発起人病院の一つです



「ケアする病院ネットワーク」は、医療が“治すこと”に偏りがちな現状のなかで、「もっと“ケアする”ことも大切にしたい」という現場からの声と願いを出発点に生まれました。

認知症の方や対応が難しい患者さんにも「自分だったらどうされたいか」を常に問いながら向き合い、治療とケアの調和を大切にしています。

身体拘束／行動制限の最小化を目指し、多職種の連携、学び合える研修や情報発信を通じ、あたたかく誇れる医療を届けられるよう努めています。

医療法人三井会 神代病院 広報誌特別版
2026年4月発行

発行者: 医療法人三井会 神代病院 院長 高田晃男
〒830-1101 福岡県久留米市北野町中川900番地1
問い合わせ先 ☎0942-78-3177

神代病院は、久留米市・大刀洗町・ 小郡市の皆さんを支える 日本医療機能評価機構の 認定病院です



✓「安心と生きがいを、患者さんとそのご家族に
深めていきたい」を法人理念に、
地域に愛される医療・介護を目指しています



久留米市・大刀洗町・小郡市の医療・介護施設と連携 地域の皆さんの健康づくりに貢献できる病院を目指して

病院長
高田晃男
Takata Akio



地域に根ざした医療の提供を目指し、第三者評価において、医療の質の維持・改善に関する認定を受けています。今後も地域の皆さまに信頼いただける医療・介護サービスの提供に努めてまいります。

皆さん、こんにちは。神代病院院長の高田です。日頃より当院ならびに医療法人三井会の各施設をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当法人は昭和49年2月に、理事長 神代弘道が神代外科胃腸科医院として開設して以来、久留米市および三井郡・小郡市をはじめとする地域において、医療と介護の連携体制の充実に努めてまいりました。

近年は、地域のかかりつけ医機能を担う医療機関として、住み慣れた地域での生活を医療・介護の両面から支えられる体制づくりに努めています。また、身体拘束の最小化を目指す医療機関ネットワークの立ち上げメンバーとして、患者さんや利用者さんだけでなく、そのご家族も含めた一人ひとりの尊厳を大切に、心の通う医療・介護の提供に取り組んでいます。

また今後私は、当法人を地域医療のベースキャンプの場と成長させる未来像を考えてます。具体的には、当法人を①体調を立て直す場所（急な体調悪化の受け皿）、②情報・人・専門性が集まる場所（多職種・多機関連携）、③治療や生活の方向性を一緒に考える場所（入退院調整・療養先の選択）、④一人では支えきれない医療をチームで担う基盤作り、⑤すべてを抱え込むのではなく、「受け止め、整え、地域へつなぐ」中核拠点の場を目指します。⑥また医療提供に

とどまらず、地域との信頼関係を育み、職員のやりがいにつながる法人を目指したいと思います。これらを実践し、皆さまが地域で安心して暮らし続けるための「地域医療の拠点（ベースキャンプ）」を目指していきます。

さて、当院では過去に病院機能評価の認定を受けておりましたが、コロナ禍において地域医療への対応を優先したため、一定期間、第三者評価を受審していない時期がありました。2025年度には、院内職員が中心となって準備から受審までを担い、改めて病院機能評価の認定を受けることができました。

約90項目に及ぶ審査への対応は決して容易なものではありませんでした。日常業務と並行しながら準備を重ねた職員一人ひとりの真摯な取り組みが、今回の結果につながったものと受け止めています。この過程は、当院の医療提供体制を改めて見つめ直し、改善につなげる貴重な機会となりました。院長として、主体的に取り組んだ職員を頼もしく感じるとともに、今後も患者さんやご家族に信頼して医療を受けていただける体制の維持・向上に努めてまいります。

病院機能評価は、定期的な審査を通じて医療の質の維持・向上を図る制度です。今後も第三者機関による評価を自院の改善に活かし、法人理念である「安心と生きがいを、患者さんとそのご家族に深めていきたい」の実現に向けて取り組んでまいります。



地域医療とともに、より一層の地域に向けた医療の教育・啓発活動を

本院は、病院機能評価機構の認定を受けた医療機関として、患者中心の医療の実践に努めております。患者の権利を明確に示し、地域医療連携室では社会福祉士や看護師が患者さん・ご家族の相談に丁寧に対応しています。また、個人情報管理委員会や倫理委員会を設置し、個人情報保護や研究・臨床倫理に関する体制を整え、臨床現場で生じる倫理的課題にも多職種で検討しながら適切に対応しています。

特に、本院が高く評価された点として、地域に向けた医療の教育・啓発活動がS評価を受けたことがあります。糖尿病教室や認知症カフェ、出張講座、中高生への体験学習など、多面的な取り組みを継続してまいりました。

今後も地域に根ざす病院として、皆さまに信頼される医療を提供し続けてまいります。



看護部 部長
野田順子

患者さんが安心して療養でき、尊厳を大切にされた看護を実践できるよう努めていきます。認定病院として、看護の力で地域医療に貢献していきます。

多職種のスタッフが連携してリハビリの効果を発揮しています



診療技術部
リハビリテーション科 部長
坂田雄一郎

これからも患者さん一人ひとりに多職種で目を向け、支援に取り組んでいきたいと考えています。

病院機能評価の「リハビリテーション機能を適切に発揮している」という項目で、当院は「A：適切に取り組まれている」という評価を受けています。

病院では、多職種が連携して業務を行いますが、リハビリテーションも同様に、多職種による評価をもとに診療計画やリハビリテーション実施計画書を作成し、多職種で連携してリハビリテーションを提供しています。特に入院症例に関しては、療法士と看護師が病棟内で

も連携を保ち、機能訓練と病棟生活が連続したアプローチとなるよう、相補的に日々調整を図っています。

また、毎月行われているカンファレンスでは、医師をはじめ多職種が参加し、患者さん一人ひとりの身体機能面や栄養面、在宅生活に戻するために必要な情報について共有しています。これらの取り組みにより、急性期から生活期まで切れ目のないリハビリテーションの提供につながっています。

地域住民の皆さまに頼られる病院になれるよう取り組みます

病院機能評価一般病院1「地域の保健・医療・介護・福祉施設等から患者を円滑に受け入れている」「身体拘束の最小化を適切に行っている」との審査項目で、当院は「A：適切に行われている」の評価を得ています。

周辺の地域は高齢化率が高く、認知機能が低下した患者さんも入院して来られます。中には、治療のために必要な栄養チューブや点滴、酸素などを外してしまわれる患者さんもおられますが、医師・看護師・リハビリ・

社会福祉士・薬剤師など多職種で知恵を出し合い対応策を検討し、ひもやミトンで安易に身体拘束をすることなく、患者さん目線でより良いケアは何かを考えながら対応しています。患者さんの権利や尊厳を守りつつ、治療を安全に行うことができるよう努めています。

患者さんやご家族に寄り添い、「神代病院がここあって良かった」と感じていただけるように、これからも職員一同努力していきます。



看護部 副部長
安武嘉枝

直接来院や救急車による搬送、他院からの紹介など、入院のきっかけは様々ですが、患者さんやご家族の目線で、受けた看護ケアを目指しています。